

第 1 1 号様式の 5（第 5 条関係）

政務活動記録簿（広報誌の発行・発送等）

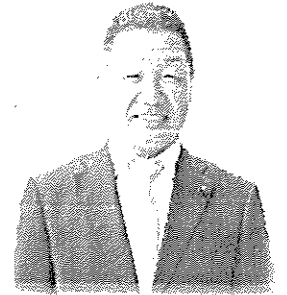
会派・議員名 乾 浩之

年 月 日	令和 6 年 5 月 2 0 日（月）				
表題と発行部数	令和6年2月県議会報告 8, 8 4 8 枚				
対象者	北葛城郡内				
配布方法	個別郵送				
発行目的	2 月県議会報告等を行い、意見や要望などを求める				
按分率の説明	按分率 5 0 % その理由（後援会活動の記事が含まれていないが、5 0 % 充当とする）				
内容	・令和6年2月県議会において、「自由民主党・無所属の会」が中心となり、知事提案の新年度予算案を修正し可決したその経緯や理由。				
編集・制作・ 発送等に要した 経費	項目	支払先	金額	金額の積算	領収書番号
	郵送費	日本郵政	699, 547円	郵送79円 8, 848通 手555	1
	※ すべて 5 0 % 充当 合計 699, 547円 × 5 0 % = 349, 773円				
備考	添付資料：「乾浩之令和6年2月県議会報告」				

注 発行した広報紙を添付してください。

乾浩之 令和6年2月県議会報告

4月になり、ようやく暖かさがましてまいりました。皆さまいかがお過ごしでしょうか。



さて、令和6年2月定例県議会は、知事提案の新年度予算案を巡り、私の所属する「自民党・無所属の会」が中心となって、その内容を質し、修正案を提案・可決することで3月25日に閉会しました。

新知事による「令和5年度予算執行査定」により突然中止された大規模広域防災拠点整備事業などの重要プロジェクトについて、どのような根拠や議論で中止としたのか。また、県が直面する課題に十分対応できるのかについて機会を捉えて何度も知事に問いましたが、十分な説明がされたとは考えておりません。これについては同封の資料に私たちの意見をまとめておりますのでお目通しください。

また、3月7日には、広陵、上牧、王寺の3町長が連名で知事に対して、県事業を実施する際に関係市町村に対する丁寧な事前説明・事前相談などを求める要望を提出されました。さらに、五條市や橿原市などからも同様の趣旨で要望が提出されています。

しかし、これら要望に対しても、知事から誠意ある回答があったとは考えておりません。このようなことでは、県と市町村の信頼関係がなくなり、今後の県事業に地元の協力が得られなくなる恐れがあります。

そこで、私たちは、広域防災拠点の予定地として買った土地にメガソーラーを設置したり、浸水が想定される土地に消防学校を移転したりする構想を性急に進める前に、有識者などから広く意見を聞いて県全体の防災体制を総合的に検討する必要があることなどを指摘して、令和6年度予算案の修正案を提案し、可決・成立させました。

さらに、重要な会議の議事録が出てこないなど、県庁内の政策決定プロセスが極めて不透明なことから、議会や市町村、地域住民の声を県政に反映させるため、次の2つの条例の改正を提案しましたが、どちらも賛成多数で一度可決したものの、知事の異議による再議となり、再議の可決に必要な2/3の賛成が得られず廃案となりました。

◎県行政の基本的な計画等を議会の議決すべき事件として定める条例の改正

県民の視点に立った県行政の実現を推進するため、計画の段階から議会がより積極的な役割を果たせるように条例を改正。

◎太陽光発電施設の設置及び維持管理等に関する条例の改正

施設を設置しようとする事業者に地元住民及び市町村長の意見を聞くことを求めるなどにより、太陽光発電施設の適正な設置と維持管理を一層確保するように条例を改正。

これからも是々非々の姿勢で県政に臨んでまいりますので、これまで以上に県議会の活動を注視してくださいますようお願いいたします。

奈良県議会会派 自由民主党・無所属の会

Vol.01

奈良県議会会派 自由民主党・無所属の会
〒780-8501 奈良市登大路町80 奈良県議会事務局内
TEL:0742-27-8952

岩田 国夫 いわたくにお 天理市

荻田 義雄 おぎたよしお 奈良市・山辺郡

田中 惟允 たなかただみつ 宇陀市・宇陀郡

粒谷 友示 つぶたにともし 生駒市

米田 忠則 よねただだのり 大和高田市

中野 雅史 なかのまさ 大和郡山

山本 進章 やまもとのぶあき 橿原市・高市郡

川口 延良 かわぐちのぶよし 天理市

伊藤 将也 いとうまさ 奈良市・山辺

浦西 敦史 うらにしあつし 吉野郡

小村 尚己 こむらなおき 生駒郡

足田 進一 ひさだしんいち 奈良市・山辺郡

若林 かずみ わかばやしかずみ 北葛城郡

川口 信 かわぐちしん 河内市

永田 恒 ながたけづる 奈良市・山辺郡

斎藤 有紀 さいとうゆき 五條市

芦高 清友 あしたかきよとも 香芝市

金山 成樹 かなやましげき 桜井市

乾 浩之 かいひろゆき 北葛城郡

池田 慎久 いけだのりひさ 奈良市・山辺郡

西川 均 にしかわひとし 葛城市

昨年4月の地方統一選挙を経て、奈良県議会の構成も大きく変わり、我々22人は自由民主党・無所属の会を結成いたしました。知事に迎合することなく、是々非々の姿勢で対峙できる会派として、奈良県政の発展に向けて県民目線で、より良い政策を提案してまいります。

令和5年度予算執行査定について

山下知事は就任直後の令和5年6月12日、今年度の予算のうち大規模広域防災拠点の整備などを含む29の事業について、全部または一部の執行を取りやめることを発表しました。このことにより将来的に4,730億円を削減できる見通しとのことです。

執行を中止した各事業は本当に必要ないものなのでしょうか。どのような根拠により中止の判断に至ったのでしょうか。事業を実施しないことによりどのような問題が残されるのでしょうか。また、その問題への対応をどのように行うのでしょうか。中止により奈良県の財政負担はいくら軽減され、他事業に当てることができるのでしょうか。(例えば、今年度削減分の73.5億円のうち奈良県負担額は35.7億円です。また、大規模広域防災拠点については国が

事業費の7割を負担することとなります。)

このような疑問に対する答えがないままに事業の中止を受入れることはできません。

執行を取りやめるとされた各事業は、いずれも選挙前の3月に議会の審議を経て予算執行が認められたものばかりです。選挙を経て知事が代わり、政策の方針が変わったからと、議会の審査を経ずに簡単に予算執行を停止してしまっているのでしょうか。

本来ならば減額補正予算を議会に諮り、議会の熟議を経て判断するべきではないでしょうか。

このような考えのもと、我々は6月以降の定例議会に臨んでまいりました。

今後とも我々の取組みも含め、奈良県政の動きを注視して頂きますようよろしくお願いいたします。

政務活動記録簿 (広報誌の発行・発送等)

会派・議員名 乾 浩之

年 月 日	令和 6 年 8 月 9 日 (金) 他				
表題と発行部数	6月県議会報告38,500枚				
対象者	北葛城郡内				
配布方法	個別郵送、新聞折込				
発行目的	県議会報告等を行い、意見や要望などを求める				
按分率の説明	按分率 50 % その理由 (後援会活動の記事が含まれていないが、50 % 充当とする)				
内容	・ 6 月定例県議会では通算 17 回目となる本会議での質問 ・ 北葛地域政策研究会でも頑張っています ほか				
編集・制作・ 発送等に要した 経費	項目	支払先	金額	金額の積算	領収書番号
	封入作業	萌	45,440円	封入通一式 45,000 手440	2
	制作費	ソルナ・ク リエイト	110,330円	企画編集一式 110,000 手330	3
	印刷費、新聞 折込料	吉田印刷工 業所	414,326円	印刷38,500部 折込27,300部	4
	郵送費	日本郵政	828,839円	郵送79円 10,486通 手445	5
印刷5.7円 38,500部 219,450円 朝刊折込3.05円 27,300部 83,265円 DM加工2.3円 21,150部 48,645円 版下・デザイン作成一式 25,000円 消費税 37,636円、振込手数料330円					
※ すべて 50 % 充当 合計 1,398,935円 × 50% = 699,467円					
備考	添付資料： 広報紙「6月県議会報告」				

注 発行した広報紙を添付してください。



〈所属委員会〉
建設委員会
観光振興対策・地域公共交通対策
特別委員会

いぬい浩之事務所 北葛城郡広陵町大場 91-3 電話:0745(56)5999 FAX:0745(56)5849 URL:www.inui-hiroyuki.

6月定例県議会で通算17回目となる本会議での質問



本会議での一般質問

令和6年6月18日に開会した6月定例県議会で、令和5年3月以来の通算17回目となる本会議での質問を行いました。

質問に先立ち、昨年からの山下知事による事業見直しについて、これまで何年もかけて地元理解や協力をお願いしてきたものや市町村のまちづくりに影響するものについては、見直す際により一層丁寧な合意形成が求められること、またこれからどんな奈良県をつかっていきたいのかというビジョンを示す必要があることを指摘しました。

その後、地域の課題に関する6つの項目について知事並びに担当部局長に質問をしましたので皆さまにその概要を報告させていただきます。

1 産業用地の確保・整備について

奈良県には、これまでから産業用地の不足の声があり、産業安全保障の観点から国内における生産基盤の整備が急務となるなかで、県内での産業用地の確保が求められている。産業用地の確保に向けて、県ではこれまでどのような取組を進めてきたのか。また、新しい産業政策のパッケージの中で、今後どのように産業用地の確保に取り組んでいくのか。

知事答弁

産業用地の確保は、県の産業振興の最大の課題の一つであり、土地利用にかかる規制や文化財発掘調査の体制など用地確保の障害となる問題の解消や県内工業団地の脱炭素化、市町村が行う工業団地の造成等に対する支援、県による更なる産業用地確保などを進めていく。

要望

6月14日の「農業振興地域の整備に関する法律」改正で農地から産業用地への転換が困難となる可能性がある。地域の声を聞きなが

ら優良農地の保全と産業用地の確保をバランス良く進めていただきたい。

2 食料の安定供給に向けた取組について

新型コロナウイルスの世界的流行で一時は国際物流が滞り食料の安定供給が心配された。今後起きるかもしれない様々な事態にも安心できる食料安全保障の確立に向けた農地の確保、担い手の育成・確保、生産性の向上について、これまでの取組状況と今後の取組を伺いたい。



知事答弁

食料の安定供給には農業生産の基盤である農地や担い手の確保、生産性の向上による農業の持続的発展が重要である。そのため特に農業振興を図るエリアを「特定農業振興ゾーン」として設定し、大規模化や高収益作物への転換などによる生産性の向上を図り、「もうかる農業」のモデルとなるよう推進している。また、なら食と農の魅力創造国際大学校での新規就農者育成や「農業担い手ワンストップ窓口」での経営高度化の支援を通じて農業の持続的発展を図っていく。

3 新西和医療センターにおける周産期医療提供体制の整備について

西和医療センターの移転については候補地が変更になって地元戸惑いもある。いずれにせよ地域のニーズに応えることができる医療センターを造ることが重要で、特に充実を求める声が多い周産期医療提供体制の整備にどのように取り組むのか。

知事答弁

昨年12月に西和7町長より「新西和医療センター」の機能充実等についての要望があり、その中に分娩を含む周産期医療体制の

残暑お見舞いを申し上げます。

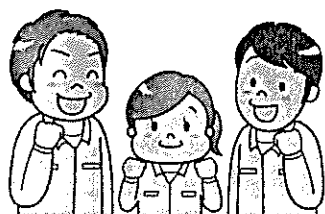
連日厳しい暑さが続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今年一月一日に起きた能登半島地震では、遠く離れた奈良県でも揺れを感じ、一気に正月気分が消えてしまいました。地震や大雨、さらに猛暑など様々な災害への備えが必要だと痛感しているところです。

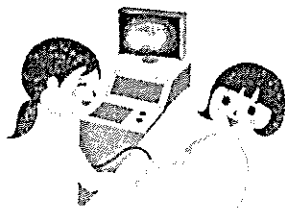
県議会では建設委員会に属し、災害に強い地域づくりを目指して、道路や河川などの基盤整備に精いつばい取り組んでまいります。

いぬい浩之は、これからも、北葛城郡と奈良県のため、そして子どもたちの未来のために一層精進してまいりますので、よろしくお願いたします。

奈良県議会議員 いぬい 浩之



一体的整備があった。西和医療圏においては、分娩数より出生数が超過しており、この数字から西和地区以外での分娩が多いことは事実。一方、県内の分娩数は出生数を800件ほど上回っており、県内には十分な分娩医療機関があると言える。



また、官民の役割分担として、公立病院が周産期医療に果たす役割は、民間が対応しきれないハイリスク分娩に対応するもの。そのため、県はハイリスク分娩に対応できる周産期母子医療センターを県立医科大学附属病院と県総合医療センターに設置している。

県として、この周産期母子医療センターに貴重な人的資源等を集中させることが必要と考え、民間医療機関等でも担うことができる通常分娩を新西和医療センターで整備することは考えていない。

要望

自分たちの住む地域で安心して分娩できる体制整備を県としてとるべきと考える。

今後の状況の変化に対応するため、分娩への対応も可能な拡張性のある施設整備を行っていただきたい。

4 奈良公園におけるゴミ対策について

昨今のインバウンドの増加で国内の有名な観光地に外国からの観光客が集中する事態となっている。今後も、奈良公園を訪れる観光客は増加していくものと考えられるが、来訪者の方に、気持ちよく、また楽しく観光してもらうために、具体的なゴミ対策を講じていくべきと考えるがどうか。



観光局長 答弁

奈良公園では、シカが誤ってゴミを食べることがないように、ゴミを捨てにくい環境にするため、ゴミ箱の常時での設置はしていない。しかし、奈良公園の観光客のほとんどがインバウンドという状況でゴミのポイ捨てが増えていることから、奈良県観光戦略本部に部会を設け、有識者や関係者とともに議論を深めたい。

5 入札契約制度改革について

工事の入札制度については、これまで何度か見直しをしてきたが、現行の総合評価制度は業者の負担が大きいなどの声がある。昨年10月に設置された「奈良県建設工事等入札契約制度検討委員会」の議論を踏まえ、県では、どのような入札契約制度改革を行うこととしたのか。また、建設産業の健全な育成という観点からどのような配慮を行っているのか

県土マネジメント部長 答弁

入札契約制度に関しては、宇陀談合事件を契機に、予定価格、最低制限価格、低入札価格調査基準価格の全てを事前公表するという情報漏洩対策を講じてきた。

その一方で、業者の積算能力の低下やくじ引きによる落札の多発、総合評価落札方式では、発注者や受注者の負担が大きいなどの課題があった。

昨年から「奈良県建設工事等入札契約制度検討委員会」で検討し、今年6月より、総合評価落札方式を適用する工事について、低入札価格調査基準価格を事後公表へ移行する改定を行うとともに、技術提案を求めない「企業・技術者評価型」や過去

の実績に関する評価項目を除いた「企業チャレンジ評価型」も導入し、より良い7札制度となるよう取り組んでいく。

6 県道天理王寺線の整備について

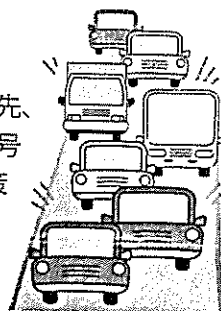
県道天理王寺線の整備で唯一残された区間となっている長楽工区の進捗状況と課題について伺いたい。また、地元から不毛田川の内水被害対策を求める声もあるが、治水対策にも配慮しながらどのように道路整備に取り組んでいくのか。

県土マネジメント部長 答弁

県道天理王寺線長楽工区は河合地区から池部交差点までの約760mで用地交渉を進めている。地域の多くの方が不毛田川流域の浸水リスクが道路整備によって高まる懸念を抱いている状況。このため町や県が調整池を整備するなどの対応を地元で説明し、用地交渉に精力的に取り組んでいく。

要望

県道天理王寺線の先、国道25号と国道168号の合流部の渋滞対策についても、県から国にしっかり働きかけてもらいたい。



◎質問を振り返って

知事に対して地域の発展に関わる課題として産業用地と農業振興を取り上げて質問しましたが、その答弁は現状の取り組みを並べるだけの熱意の感じられないものでした。また、地元7町から要望の出ている新西和医療センターでの分娩など周産期医療の提供についても、西和地域で不足していても県全体で足りているから整備の必要がないという答でした。

残念な結果となりましたが、わたしはこれからも地域の声を粘り強く県政に届け続けます。

北葛城郡を元気にしたい!

北葛は

1つ!

住む人が誇り、訪れる人がうらやむような
すばらしい町づくりを進めよう!

地域の課題や活性化のアイデアなどを
「いぬい活のホームページ」の「県政に関するアンケート」に
お寄せください。

お問い合わせ
いぬい活之後援会事務局 TEL:080-3132-0011 ※※ 横西 FAX:0745-56-5849



北葛地域政策研究会でも頑張っています!

第17回研究会テーマ「国際化と多文化共生」

令和6年2月7日(水) 北葛地域政策研究会の第17回会合として、県国際課の人見達哉課長に「国際化と多文化共生」と題してご講演をいただきました。上牧町、王寺町、広陵町の各町長にもご出席いただき、会員26名が参加して、近年増えている外国人住民との共生について活発に対話することができました。



政務活動記録簿 (広報誌の発行・発送等)

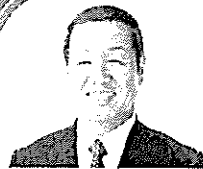
会派・議員名 乾 浩之

年 月 日	令和 6 年 1 2 月 2 7 日 (金)				
表題と発行部数	9 月県議会報告 33,700 枚				
対象者	北葛城郡内				
配布方法	個別郵送、新聞折込				
発行目的	9 月県議会報告等を行い、意見や要望などを求める				
按分率の説明	按分率 5 0 % その理由 (後援会活動の記事が含まれているため、5 0 % 充当とする)				
内容	・ 9 月県議会の概要報告 ・ 県議会建設委員会視察の概要 ・ 後援会の活動				
編集・制作・ 発送等に要した 経費	項目	支払先	金額	金額の積算	領収書番号
	封入作業	萌	35,440 円	封入 11,150 一式 35,000 手 440	6
	印刷費、新聞 折込料	吉田印刷工業 所	375,557 円	印刷 33,700 部 折込 22,500 部	8
	制作費	ソルナ・ク リエイト	110,330 円	企画編集一式 110,000 手 330	9
	郵送費	日本郵政	953,010 円	郵送 79 円 12,055 通 手 665	7
印刷 5.6 円 33,700 部 188,720 円 朝刊折込 3.1 円 22,500 部 69,750 円 DM 加工 2.3 円 11,150 部 25,645 円 版下・デザイン作成一式 25,000 円 DM 折追加分 750 部 32,000 円 消費税 34,112 円 振込手数料 330 円					
	※ すべて 5 0 % 充当 合計 1,474,337 円 × 50 % = 737,168 円				
備考	添付資料： 広報紙「9 月県議会報告」				

注 発行した広報紙を添付してください。

北葛はひとつ！
みんなの声を県政に！

〈所属委員会〉
建設委員会
観光振興対策・地域公共交通対策等
特別委員会



奈良県議会議員（北葛城郡選挙区）

いぬい 浩之

（所属党派：自由民主党・無所属の会）

いぬい浩之事務所 北葛城郡広陵町大場 91-3

電話：0745(56)5999 FAX：0745(56)5849

URL:www.inui-hiroyuki.jp/



2025年1月号
9月県議会報告
〈Vol.30〉

9月県議会 一般会計補正予算は意見を付けて承認 令和5年度決算については不認定

9月17日から始まった9月議会では、五條市県有地における広域防災拠点の整備や斜面が崩れて通行止めが起きた国道169号など対応、電子処方箋の普及などの予算を審議し、広域防災拠点整備事業については県議会や地元の意見を踏まえて進めることを求める附帯決議を付けて、およそ28億円の補正予算を成立させました。

また、令和5年度一般会計決算については、その検証を行う決算委員会でも不認定となり、10月23日の本会議でも、知事による予算の一部執行停止について、十分な議論が議会でなされず、理由や経緯についても十分な記録が残されていないこと。また、事業を停止した後の代替案が二転三転し、緊急防災・減災事業債の適用が不安視されていることなどを理由に認定しないこととなりました。

令和5年度はせっかく予算を確保したのに使わなかった金額（不用額）が7百億円を超えています。これは過去に例を見ない金額で、予算に対する割合もこれまでの5%前後だったものが一気に倍増の10%超となっています。これは、県政の停滞と混乱を如実に示すものです。

私は同僚議員とともに、県民が安心して暮らせる地域づくりを進めるため、これからも粘り強く地域の声を県政に伝えていきたいと考えています。

予算額と不用額の推移

（単位：百万円）

	予算額	不用額	不用率
令和5年度	647,460	70,146	10.8%
令和4年度	713,528	55,985	7.8%
令和3年度	748,797	43,303	5.8%
令和2年度	730,434	40,731	5.6%
令和元年度	561,489	21,517	3.8%
平成30年度	544,874	22,435	4.1%
平成29年度	528,906	25,362	4.8%
平成28年度	523,632	21,679	4.1%
平成27年度	545,210	26,959	4.9%
平成26年度	537,280	27,333	5.1%

補正予算の主な内容

1（新規）広域防災拠点（五條市県有地）整備事業 五條市県有地における広域防災拠点の整備基本計画を策定	24,500 （債務負担行為 ②18,312）
2（新規）災害活動体制強化事業 県災害対策本部機能の充実・強化に向けた、現況の検証及び効果的な運用の調査検討	8,200
3 道路災害関連事業 崩土や落石による通行止め等への対応	922,000 （債務負担行為 ②30,000）
4（新規）電子処方箋活用・普及促進事業 医療費適正化計画に基づき、重複投薬等の抑制による医薬品の適正使用を推進するため、医療機関・薬局が行う電子処方箋の導入に対し補助	143,265

議第80号 令和6年度奈良県一般会計補正予算（第2号）に対する附帯決議
議第80号 令和6年度奈良県一般会計補正予算（第2号）に賛成するにあたり、このうちの広域防災拠点整備事業が行われる南部中核拠点に関連して、県当局には以下の三つの意見を附帯する。

- 一、基本構想や基本計画の策定にあたり、県議会の意見を踏まえ、総務省との協議にあたること。
- 二、災害時における人命救助への体制を最優先とし、県議会と地元の意見、それに緊急防災・減災事業債の趣旨を踏まえ、当拠点の太陽光発電施設整備の是非について判断すること。
- 三、当拠点の防災機能を最大限に発揮するためにも、拠点への道路アクセス等を充実させ、消防学校の一体整備を検討するなど機能強化に資する環境整備を進めること。

以上、決議する。

令和6年10月8日 奈良県議会

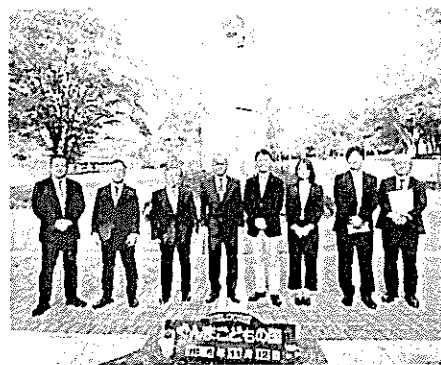
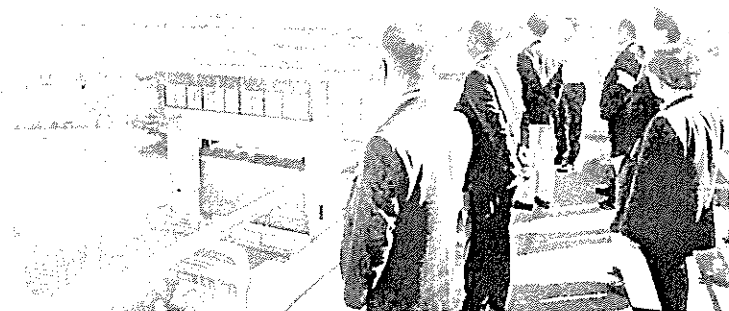
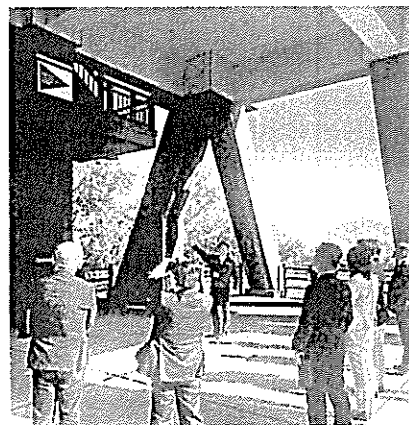
観光振興対策・地域公共交通対策等 特別委員会で質問

11月28日開催の県議会観光振興対策・地域公共交通対策等特別委員会で質問し、馬見丘陵公園やその周辺の交通問題について駐車場の確保や道路の改良など地元と連携した対応を求めました。

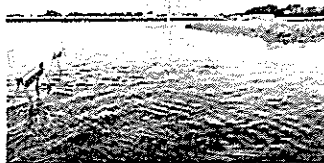


謹んで新年のお慶びを申し上げます。
寒さが一段と厳しくなってきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。
令和6年は夏の高温が長く続いたり、季節外れの大雨で宅地が浸水したりした異常な年でした。
今年も誰かが安心して暮らせる平穏な一年となるように祈ります。
いぬい浩之は、これからも、北葛城郡と奈良県のため、そして子どもたちの未来のために一層精進してまいりますので、よろしくお願いたします。

奈良県議会議員 いぬい 浩之

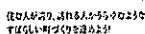


奈良県でも大和川流域で遊水地の整備が進んでいますが、その必要性を再認識したところです。



平成29年の台風21号による浸水被害を忘れず、河川の整備や浸水対策を進めます。

北葛は
1つ!



地域の課題や活性化の
アイデアなどを
「いぬい浩之ホームページ」の
「県政に関するアンケート」に
お寄せください。

問:いぬい浩之後援会事務所 TEL:080-3132-0011 福岡 FAX:0745-56-5849

チャリティ・ゴルフコンペを開催



10月25日、KOMAカントリークラブで第12回チャリティ・ゴルフコンペを開催しました。集まった募金は日本赤十字奈良県支部に届けました。この浄財は、1月の能登半島地震の被災地のために使われるそうです。皆さま協力ありがとうございました。

